日高村防災マップ

南部版
（北部版は裏面です）

【発行】日高村役場 〒781-2194 高知県高岡郡日高村本郷61-1 TEL:0889-24-5111（代表）

NTTInfraNet

警戒レベルと避難情報

令和3年5月から、とるべき行動を明確にする形で避難情報の種類が変更されました。警戒レベル4の避難指示が発令されたら、すぐに危険な場所から避難してください。

警戒レベル（日高村が発令）	避難情報	状況	とるべき行動
5	緊急安全確保※	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保! ●命を守るため、自宅や近隣の建物で緊急的に安全確保してください。
警戒レベル4までに必ず避難!			
4	避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難 ●危険な場所から全員避難してください。 ●屋内で安全確保できると自ら判断できる場合は垂直避難も可能です。
3	高齢者等避難	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ●高齢者等の避難に時間を要する人やその支援者は避難してください。 ●高齢者等以外の人も、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。
2	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁が発表）	気象状況悪化	自らの避難行動を確認 ●ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう。 ●災害想定区域、避難場所や経路、避難のタイミングを確認してください。
1	早期注意情報（気象庁が発表）	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める ●最新の防災気象情報などを確認しましょう。

※災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5の緊急安全確保は必ず発令されるものではありません。

情報の伝達

村からの避難情報は、右図のような手段で住民のみなさんに伝達されます。積極的に情報を収集し、早めの避難を心がけましょう。

日高村 災害対策本部
緊急安全確保
避難指示
高齢者等避難
気象情報

→ 消防車・広報車
→ 防災行政無線
→ 日高村メールサービス
→ 日高村ホームページ
→ 緊急速報メール（エリアメール）
→ 報道機関（テレビ・ラジオ）
→ 住民のみなさん

避難場所

※洪水対応は過去の浸水実績から判断しています

地区	名称	対応災害 洪水	対応災害 土砂
下分	光岩集会所	○	×
下分	小村集会所（下公民館（下分分館））	×	○
下分	下分ふれあいプラザ	×	×
下分	江尻集会所	×	×
下分	中村集会所	×	×
下分	日高特別支援学校	○	○
本郷	父原集会所	×	×
本郷	妹背集会所	○	×
本郷	本郷多目的集会所	×	○
本郷	本郷ふれあいプラザ	×	×
本郷	宇井集会所	×	×
岩目地	井峯・下の谷集会所	○	×
本郷	鹿児集会所	×	○
本郷	日高村高齢者ふれあいスポーツセンター	○	○
岩目地	平野集会所	○	×
岩目地	竜石集会所	×	×
岩目地	日高村岩目地ふれあいプラザ	○	○

地区	名称	対応災害 洪水	対応災害 土砂
本郷	日高中学校	×	○
九頭	九頭集会所	×	○
沖名	日高村社会福祉センター	×	○
沖名	石田集会所	○	×
沖名	沖名集会所	○	○
沖名	南込山集会所	○	×
沖名	産業郷土資料館	○	×
岩目地	加茂小学校	○	×
本郷	本郷消防屯所	×	○
下分	国岡集会所	×	○
下分	暮月集会所	×	×
本郷	大和田集会所	×	○
沖名	北込山集会所	○	×
本郷	日高村高齢者ふれあいスポーツセンター	○	○
沖名	日下保育園	×	○
岩目地	加茂保育園	○	×
沖名	宮谷集会所	○	×

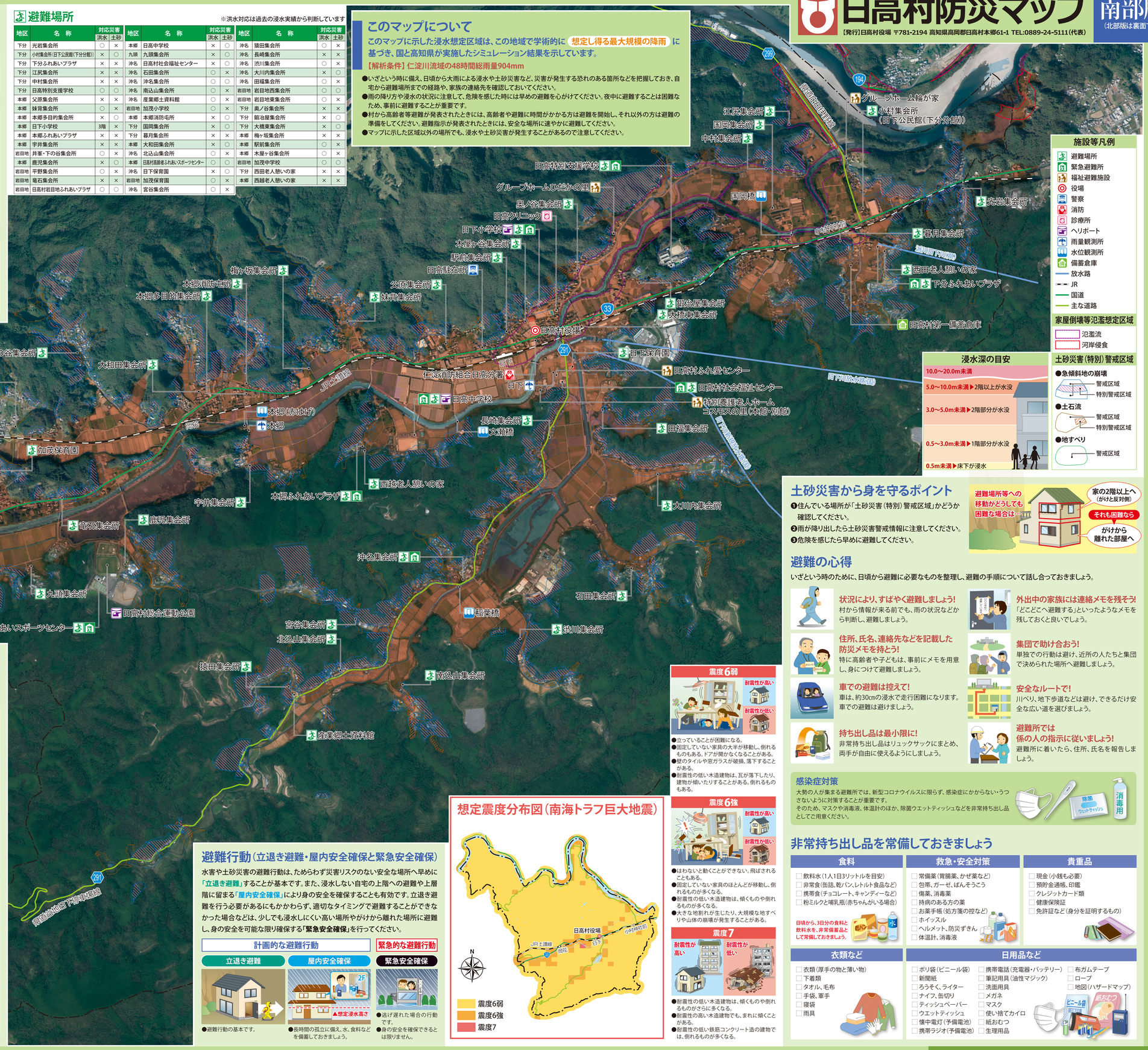
地区	名称	対応災害 洪水	対応災害 土砂
沖名	猿田集会所	○	×
沖名	長崎集会所	×	×
沖名	洗川集会所	×	○
沖名	大川内集会所	×	○
沖名	田福集会所	○	○
岩目地	岩目地西集会所	○	○
岩目地	岩目地東集会所	○	×
下分	奥ノ谷集会所	×	×
下分	鍛冶屋集会所	×	○
下分	大橋集会所	×	○
本郷	梅ヶ坂集会所	○	×
本郷	駅前集会所	○	×
本郷	木屋ヶ谷集会所	○	×
岩目地	加茂中学校	○	○
下分	西田老人憩いの家	×	×
本郷	西越老人憩いの家	×	×

このマップについて

このマップに示した浸水想定区域は、この地域で学術的に **想定し得る最大規模の降雨** に基づき、国と高知県が実施したシミュレーション結果を示しています。

【解析条件】仁淀川流域の48時間総雨量904mm

- いざという時に備え、日頃から大雨による浸水や土砂災害など、災害が発生する恐れのある箇所などを把握しておき、自宅から避難場所までの経路や、家族の連絡先を確認しておいてください。
- 雨の降り方や浸水の状況に注意して、危険を感じた時には早めの避難を心がけてください。夜中に避難することは困難なため、事前に避難することが重要です。
- 村から高齢者等避難が発表されたときには、高齢者や避難に時間がかかる方は避難を開始し、それ以外の方は避難の準備をしてください。避難指示が発表されたときには、安全な場所に速やかに避難してください。
- マップに示した区域以外の場所でも、浸水や土砂災害が発生することがあるので注意してください。



緊急避難所

地区	名称
長崎	日高村社会福祉センター
馬越	沖名集会所
鍛冶屋	日高特別支援学校
木屋ヶ谷	日下小学校
文瀬	日高中学校
西田	下分ふれあいプラザ
西越	本郷ふれあいプラザ
岩目地	加茂中学校
岩目地	加茂小学校
鹿児	日高村高齢者ふれあいスポーツセンター
岩目地	日高村岩目地ふれあいプラザ

福祉避難施設

地区	名称
小村	グループホーム輪が家
長崎	特別養護老人ホーム コスモスの里
長崎	特別養護老人ホーム コスモスの里別館
奥ノ谷	グループホームひだかの里
長崎	日高村ふれ愛センター

土砂災害の種類と前兆現象

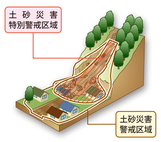
大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、土砂災害には前兆現象があります。前兆現象を確認したら速やかに避難してください。

土砂災害の種類には、大きく分けて3つのタイプがあります。自分の周りの土砂災害危険箇所がどのタイプであるか確認しておきましょう。

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。

土石流



長雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。

地すべり

大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたりゆっくりと動きだすものをいいます。

こんなときは要注意　土砂災害の前ぶれ（前兆現象）

五感	移動主体	がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）	土石流	地すべり
視覚	山・斜面・がけ	●がけに割れ目がみえる。 ●がけから小石がパラパラと落ちる。 ●斜面がはらみだす。	●渓流付近の斜面が崩れだす。 ●落石が生じる。	●地面にひび割れができる。 ●地面の一部が落ち込んだり盛り上がったりする。
	水	●表面流が生じる。 ●がけから水が噴き出す。 ●湧水が濁りだす。	●川の水が異常に濁る。 ●雨が降り続いているのに川の水位が下がる。 ●土砂の流出。	●沢や井戸の水が濁る。 ●斜面から水が噴き出す。 ●池や沼の水かさが急減する。
	樹木	●樹木が傾く。	●濁水に流木が混じりだす。	●樹木が傾く。
	その他	―――	●渓流内の火花。	●家や擁壁に亀裂が入る。 ●擁壁や電柱が傾く。
音		●樹木の根が切れる音がする。 ●樹木の揺れる音がする。 ●地鳴りがする。	●地鳴りがする。 ●山鳴りがする。 ●転石のぶつかり合う音。	●樹木の根が切れる音がする。
におい		―――	●腐った土のにおいがする。	―――

※上記は一般的な前ぶれです。すべての場所において必ず起きるというものではありません。

〈作成年月：令和5年3月〉

避難行動（立退き避難・屋内安全確保と緊急安全確保）

水害や土砂災害の避難行動は、ためらわず災害リスクのない安全な場所へ早めに「**立退き避難**」することが基本です。また、浸水しない自宅の上階への避難や上層階に留まる「**屋内安全確保**」により身の安全を確保することも有効です。立退き避難を行う必要があるにもかかわらず、適切なタイミングで避難することができなかった場合などは、少しでも浸水しにくい高い場所やがけから離れた場所に避難し、身の安全を可能な限り確保する「**緊急安全確保**」を行ってください。

計画的な避難行動

立退き避難

●避難行動の基本です。

屋内安全確保

●長時間の孤立に備え、水、食料などを備蓄しておきましょう。

緊急的な避難行動

緊急安全確保

●逃げ遅れた場合の行動です。
●身の安全を確保できるとは限りません。

想定震度分布図（南海トラフ巨大地震）

震度6弱

●立っていることが困難になる。
●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度6強

●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
●耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。
●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

震度7

●耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものがさらに多くなる。
●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

施設等凡例

- 避難場所
- 緊急避難所
- 福祉避難施設
- 役場
- 警察
- 消防
- 診療所
- ヘリポート
- 雨量観測所
- 水位観測所
- 備蓄倉庫
- 放水路
- JR
- 国道
- 主な道路

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 氾濫流
- 河岸侵食

浸水深の目安

- 10.0～20.0m未満
- 5.0～10.0m未満▶2階以上が水没
- 3.0～5.0m未満▶2階部分が水没
- 0.5～3.0m未満▶1階部分が水没
- 0.5m未満▶床下が浸水

土砂災害（特別）警戒区域

●急傾斜地の崩壊
- 警戒区域
- 特別警戒区域

●土石流
- 警戒区域
- 特別警戒区域

●地すべり
- 警戒区域

土砂災害から身を守るポイント

❶住んでいる場所が「土砂災害（特別）警戒区域」かどうか確認してください。
❷雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意してください。
❸危険を感じたら早めに避難してください。

避難の心得

いざという時のために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。

状況により、すばやく避難しましょう!
村から情報が来る前でも、雨の状況などから判断し、避難しましょう。

外出中の家族には連絡メモを残そう!
「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくと良いでしょう。

住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう!
特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身につけて避難しましょう。

集団で助け合おう!
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

車での避難は控えて!
車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。

安全なルートで!
川べり、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

持ち出し品は最小限に!
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。

避難所では係の人の指示に従いましょう!
避難所に着いたら、住所、氏名を報告しましょう。

感染症対策

大勢の人が集まる避難所では、新型コロナウイルスに限らず、感染症にかからない・うつさないように対策することが重要です。
そのため、マスクや消毒液、体温計のほか、除菌ウエットティッシュなどを非常持ち出し品としてご用意ください。

非常持ち出し品を常備しておきましょう

食料

- □ 飲料水（1人1日3リットルを目安）
- □ 非常食（缶詰、乾パン、レトルト食品など）
- □ 携帯食（チョコレート、キャンディーなど）
- □ 粉ミルクと哺乳瓶（赤ちゃんがいる場合）

日頃から、3日分の食料と飲料水を、非常備蓄品として常備しておきましょう。

救急・安全対策

- □ 常備薬（胃腸薬、かぜ薬など）
- □ 包帯、ガーゼ、ばんそうこう
- □ 傷薬、消毒薬
- □ 持病のある方の薬
- □ お薬手帳（処方箋の控えなど）
- □ ホイッスル
- □ ヘルメット、防災ずきん
- □ 体温計、消毒液

貴重品

- □ 現金（小銭も必要）
- □ 預貯金通帳、印鑑
- □ クレジットカード類
- □ 健康保険証
- □ 免許証など（身分を証明するもの）

衣類など

- □ 衣類（厚手の物と薄い物）
- □ 下着類
- □ タオル、毛布
- □ 手袋、軍手
- □ 寝袋
- □ 雨具

日用品など

- □ ポリ袋（ビニール袋）
- □ 新聞紙
- □ ろうそく、ライター
- □ ナイフ、缶切り
- □ ティッシュペーパー
- □ ウエットティッシュ
- □ 懐中電灯（予備電池）
- □ 携帯ラジオ（予備電池）
- □ 携帯電話（充電器・バッテリー）
- □ 筆記用具（油性マジック）
- □ 洗面用具
- □ メガネ
- □ マスク
- □ 使い捨てカイロ
- □ 紙おむつ
- □ 生理用品
- □ 布ガムテープ
- □ ロープ
- □ 地図（ハザードマップ）

裏面にも各種情報が掲載されています。あわせてご確認ください。➡